

NOAH NEWS

今回のテーマは・・・

担当者：太田



選べ！質の良いご飯！



前回、2019年5月に犬猫の栄養学として五大栄養素のお話や必要な栄養バランスについて簡単にではありますがまとめさせていただきました。（もし覚えていてくれたら嬉しいです笑）

今回はそれを踏まえてどのご飯を選んだらいいの？なんてお話もできたらと思います！♪

1：犬猫にとって重要な栄養素とは？



前回のおさらいにもなりますが、犬は「雑食に近い肉食動物」、猫は「完全な肉食動物」です。

端的に言えば、「肉＝タンパク質」ですので、犬猫にとってはタンパク質の「質」が大事といえます。

では、「良質なタンパク質」とは?? 簡単に挙げると、①消化&吸収しやすさ、②タンパク質の中身（アミノ酸）のバランスが良いかこの2点の観点で評価され、小麦など「植物性タンパク質」よりも、鶏肉などの「動物性タンパク質」の方が単体で見ると、吸収率やバランスが良いとされていますが、実際には両方含まれている方がバランスは更に良くなります。

質の悪いタンパク質を摂っているとどうなるか？というと、吸収されないタンパク質が多くなるため、ウンチとして出てしまいます。そのため、排便量が多くなり、ニオイも強くなります。飼主さんが体感で判断できる一つのポイントかもしれませんね。



2：流行りのキーワード検証

昨今はインターネットで様々なフードの口コミがあげられていて、「何を基準としたらいいの？」となってしまうこともあると思います。良く挙げられる言葉を栄養学の観点から考えてみましょう。

①グルテンフリー 「犬猫は肉食だから穀物は良くない」なんてこと聞いたことがあるかもしれません。

グレインフリー 人間も生米や生麦は消化できませんが、調理すれば問題ないのと同じでペットフードに加工されていれば犬猫もしっかり消化できます。



栄養学から見た場合、穀物アレルギーがなければこの言葉にこだわる根拠はほぼありません。

②〇〇ミール



“ミートミール”の場合は何らかの哺乳類の肉や臓器となりますが、“チキンミール”の場合はニワトリの肉や臓器などが含まれています。人間が好んで食べない臓器などが混ざっているものではありませんが、臓器は貴重なビタミン・ミネラルを効率よく含むため、基本的に悪い物では全くありません。もともと肉食動物はこれらから大事な栄養を摂取しています。

ただし、あまりに低価格なご飯の場合、その品質に関しては少し注意すべきかもしれません。

③無添加

着色料、酸化防止剤、保存料、香料、どれか一つを含まないというだけでも「無添加」と表示することもあるのでまずはパッケージをよく見ましょう。そもそも、本当に何も添加していないならドライフードで一か月近くも品質が保つフードなど作れません。お煎餅でもカビちゃいますよね。



大事なものは量。「発がん性が！実験で死亡例が！」となる前に、人間も醤油を1ℓ飲めば死んでしまうことを思い出してください。着色料や香料に関しては無くてもよいと個人的に思いますが…

④ヒューマン グレード



原材料の品質を表すときに使われることがある言葉ですが…実はこの言葉ハッキリとした定義が無い言葉です。ヒューマングレードだから消化がよい、アレルギーが出にくい、栄養バランスが良いといったことはではなく、あくまでも「原材料に一定以上の品質がある」という言葉です。
「ヒューマングレードと書いてない=品質が悪い」というのは誤りです。

3：フードの選び方 フローチャート ※あくまでも一つの考え方としてご覧ください



ドライフードの場合、長くとも開封後一か月で食べきるようなサイズを選びましょう。

たとえ開封後に個別に分けて保管しても変質は防げません。変質したフードは肝臓や胃腸にとって悪影響が強いので大変危険です。

そして一番大事なのは、「実際に食べ続けてみて、どう変化するのか？」です。

例えば、食物アレルギーの場合はその子に合わないものだと皮膚のかゆみなどの症状は比較的早く出ますが、良くなる方の変化の場合、改善がはっきりわかるまで皮膚のターンオーバーの期間である21日以上かかります。その他、嘔吐の回数、便の硬さやにおい、毛ツヤのよさ、全部が「何となく、いいかも♪」という感じであれば、きっとそのフードはその子にとっては合っているものと言えるでしょう。

あとがき

まさかのノアニュース初の両面での発行になってしまいました。最初はもっと簡単に済ませようと思っていたのですが…あれをお伝えしたい、これも伝えたい、って書いていくうちにこんなことに…。全部読んでいただいた方は本当にありがとうございます。病院で販売しているフードに関しては、成分等はすぐお調べできますし気になることがあれば問い合わせもできるかもしれません。何かお困りのことがあればスタッフにお尋ねください！

動物看護師 太田 絵